

男女共同参画 三十一

令和4年度テーマ「男女（あなた）と築く 希望の未来」

第2回セミナー「SDGs 私のアクション」

10月5日（水）10：00～11：30

会場：市民プラザかぞ 5階 活動室

講師：三井住友海上火災保険(株)
営業推進部 プロモーター

定員：20人 申込：9月1日（木）受付開始

☆SDGsをもっと身近に・・・☆

男女共同参画社会の実現を目指して、今年度もセミナーを企画しています。セミナーの参加に年齢や性別は問いません。みなさん、ぜひご参加ください。

セミナーの参加申し込み・問合せはこちら

加須市役所 人権・男女共同参画課
☎0480-62-1111(内線342)

第3回セミナー「クリスマスコンサート」

12月10日（土）13：30～15：30

会場：市民プラザかぞ 3階 多目的ホール

出演：さくまひでき 氏
(ミュージシャン、加須市観光大使)
：大川 義秋 氏
(箏奏者、加須市観光大使)

定員：100人

申込：10月17日（月）受付開始

♪歌と和楽器の異色のコラボがあるかも？♪



「女性人材リスト」にご登録いただける女性を募集しています。

加須市では、審議会等の委員や各種団体・ボランティア団体等に女性の参画を推進するために、「女性人材リスト」を作成しています。

市の施策に興味をお持ちの方など、女性人材リストへ登録してみませんか。

詳しくは市のホームページをご覧ください。

編集後記

世界の世相は、諸物価の値上がり次々と起こっており、私達の生活を圧迫しています。ロシアのウクライナ侵攻、円安の継続、新型コロナウイルスのまん延等が主な要因と考えられています。早く、ロシアの侵攻の終結、円レートの復帰、新型コロナウイルスの収束等により、以前と同じような安定した日常生活に戻れる事を願っております。

～市民企画委員会 広報部～

男女共同参画週間
パネル展を実施しました
市民企画委員会
事業部



展示期間 6月15日(水)～6月30日(木)
場所 市民プラザかぞ 1階 エントランスホール
展示内容 「男女共同参画を推進しよう！」
・男女共同参画とは ・加須市の取り組み
・加須市男女共同参画市民企画委員の活動
ご覧いただきました皆様 ありがとうございます

□発行日／令和4年9月1日(年2回発行) □編集／加須市男女共同参画市民企画委員会 広報部
□発行／加須市総務部人権・男女共同参画課 □Tel0480-62-1111(内線342) E-mail jinken@city.kazo.lg.jp

加須市男女共同参画情報紙

Vol. 24

2022.9.1

ぱれっと



表紙イラスト：後藤 満男さん
(加須地域在住)

もくじ

- 「加須市男女共同参画プラン」を策定しました …2
- 手と手 「一所懸命働く子どもたちが誇りです」 …3
- 男女共同参画セミナーのお知らせ …4
- 男女共同参画週間パネル展のようす 他

「ぱれっと」は、男女にかかわりなく、たくさんの方がパレットの上で絵の具を混ぜ合わせるように、自分たちの暮らしを豊かに色づけできたらと、そんな願いを込めました。

第2次加須市男女共同参画基本計画

「加須市男女共同参画プラン」を策定しました！

基本理念「^{みんな}男女が認め合い 誰もが活躍できる住みよいまち」

加須市では、これまでの男女共同参画推進に係る取組の成果や課題の分析を行うとともに、社会情勢の変化等による新たな課題に男女共同参画の視点から対応するため、第2次加須市男女共同参画基本計画「加須市男女共同参画プラン」を策定しました。

ジェンダー平等の理念の下、男女（みんな）が互いに人権を尊重しつつ、性別にかかわらず、一人ひとりが個性と能力を発揮して、誰もが活躍できる住みよいまちの実現をめざします。そのために、私たちにできることはどのようなことでしょうか。

男女（みんな）で一緒に考え、男女（みんな）で一緒に取り組みましょう。

プランの特徴・位置付け

- ▶ 市民意識調査等でいただいた市民の皆さんの意見を尊重して策定しました。
- ▶ 基本目標を「社会全体」、「家庭」、「地域」、「働く場」、「教育の場」の5つの場面とし、わかりやすい設定としました。
- ▶ DV（ドメスティックバイオレンス）をはじめ、あらゆる暴力の根絶を目指し「第2次加須市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援に関する基本計画」を位置付けています。
- ▶ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）の規定に基づく「第2次加須市女性活躍推進計画」を位置付けています。



社会全体における男女共同参画の推進

男女共同参画社会の実現に向け、男女が社会の対等な構成員として、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、様々な利益を享受でき、ともに責任を担う社会を目指します。



ジェンダー平等を実現しよう

これまでの風習や宗教などにより、女性に対して教育や社会参加の機会が制限されることが多くありました。これからの持続可能な社会を実現するためにも、政治や意思決定の場で女性の能力が十分発揮できるような環境を作り、性差別のないよりよい社会を目指しています。



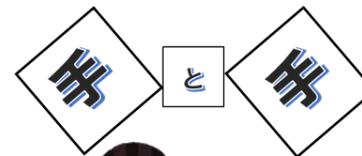
男女共同参画の推進によるSDGsの推進

SDGsの17の国際目標のうち、「ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう」、「ゴール10 人や国の不平等をなくそう」、「ゴール16 平和と公正をすべての人に」、「ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう」は、「加須市男女共同参画プラン」においてすべての施策が対応するものと関連付けています。

特に「ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう」はプラン全体の礎となると考えます。



詳しくは市のホームページから、第2次加須市男女共同参画基本計画「加須市男女共同参画プラン」をご覧ください。



「一所懸命働く子どもたちが誇りです」

エッセンシャルワーカー（医師・理学療法士・看護師・調剤薬局事務）として働く子どもたちの母親であり、3姉妹のK.Aさん・M.Aさん・N.Kさんにお話をうかがいました。

K.Aさん

子どもたちの進路については、「どこでも使える資格を持った仕事が良いね。」「4人姉妹だから、高い学費は出せないよ。」と伝えました。

長女は、きちんと答えが出る理系科目が好きで勉強を頑張り、国立大学の医学部に進み医師として県外の病院で働いています。

次女は、最初は医療系志望ではなく、大学卒業後、専門学校にて理学療法士の資格を取得して、県内の病院で働いています。

三女・四女は、高校卒業後、看護専門学校に進み看護師になり、それぞれ県内の病院で働いています。

コロナ以前から、感染症対策はしっかり行っていたので、それ程仕事は苦ではなかったようです。

しかし、コロナウイルス感染症の患者さんの担当の時には、各人一所懸命働いていたようです。休みの日には、深い眠りにつき、美味しい物を食べ、楽しくお喋りをして、元気に仕事に向かっていました。

子どもたちは、仕事が充実しているようなので、これからも、資格を活かして元気に活躍してほしいと思っています。



取材を終えて



子どもたちが、皆それぞれエッセンシャルワーカーとして活躍していて、本当に素晴らしいと思いました。そのお母さんたちは、とても穏やかで、明るく、子どもたちの自主性を温かく見守っているようです。コロナ禍で、自分の仕事に誇りを持ち働き続けているエッセンシャルワーカーに、改めて感謝の気持ちを込めて拍手を送りたいと思います。

コロナが、一日も早く収束し、みんなで楽しく、従姉妹同士で集まれることを切に願います。

M.Aさん



高い学費は出せないけれど、資格を取得することは強みだと思います。（結婚前に事務職だった私は、パートタイマーとして働き家計を支えていました。）

子どもは、文系科目より理系科目の方が好きだったので、看護系の大学に進み、看護師と保健師の資格を取得しました。

若いうちにしか出来ないことをやりたいと、県内の病院のICUで頑張っています。コロナウイルス感染症の患者さんの担当の時には、人工呼吸器の取扱いなど、いつもの仕事が役立つそうです。

自分らしく生きてくれれば良いと思います。

N.Kさん



私は美容師として働いています。（離婚後も資格を活かして働き、家計を維持しました。）資格は大事だと思いますが、本人が一所懸命出来る仕事に就くことが一番だと思っています。

子どもは、初めは観光業を目指して大学に進み、沢山の資格を取得しました。その後、観光系に就職しましたが、あまりやりがいを感じられず、調剤薬局事務に転職しました。

日本語が通じない外国人の患者さんには、大学で身に付けた英語が役立っています。

忙しくても、休日はのんびり出来るし、今の仕事が気に入っているようです。

コロナ禍で、従姉妹同士で集まれず残念です。「ジャンボこいのぼり」掲揚の様子など、市外で頑張っている従姉妹たちに情報発信をしています。